3691	184	題号不明	高橋謙次郎	言語	振り向けば狐火きつと燃えるはず	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	152	￥43	￥1	￥1	冬
3692	184	題号不明	高橋謙次郎	言語	縄とびの子等に大きくなる夕日	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	381	￥43	￥1	￥1	冬
3693	184	題号不明	高橋謙次郎	言語	水仙の香や一睡の夢の後	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	583	￥43	￥1	￥1	冬
3885	185	題号不明	高野素十	言語	欠航といふも冬めくもののうち	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	30	￥43	￥1	￥1	冬
3886	185	題号不明	高野素十	言語	枯れ果てし真菰の水や日短か	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	53	￥43	￥1	￥1	冬
3887	185	題号不明	高野素十	言語	母の忌のこの日の冬日なつかしむ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	72	￥43	￥1	￥1	冬
3888	185	題号不明	高野素十	言語	噴煙を追ふつぎつぎの冬の雲	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	76	￥43	￥1	￥1	冬
3889	185	題号不明	高野素十	言語	翠黛の時雨いよいよはなやかに	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	96	￥43	￥1	￥1	冬
3890	185	題号不明	高野素十	言語	夕霰枝にあたりて白さかな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	100	￥43	￥1	￥1	冬
3891	185	題号不明	高野素十	言語	雪片のつれ立ちてくる深空かな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	114	￥43	￥1	￥1	冬
3892	185	題号不明	高野素十	言語	やまのべのみちの左右の冬田かな	2008	『俳句歳時記　第四版』	700	￥43	￥1	￥1	冬
3893	185	題号不明	高野素十	言語	冬川にかゝりて太し石の橋	2008	『俳句歳時記　第四版』	702	￥43	￥1	￥1	冬
3894	185	題号不明	高野素十	言語	一枚の冬波湾を蔽ふとや	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	141	￥43	￥1	￥1	冬
3895	185	題号不明	高野素十	言語	寒潮の一つの色に湛へたる	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	142	￥43	￥1	￥1	冬
3896	185	題号不明	高野素十	言語	丘の上の寺の氷柱も見ゆるかな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	148	￥43	￥1	￥1	冬
3897	185	題号不明	高野素十	言語	一塊の軒の雪より長つらゝ	2001	『昭和秀句Ⅱ＜新版＞日本秀句８』	5	￥43	￥1	￥1	冬
3898	185	題号不明	高野素十	言語	狐火や村に一人の青々派	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	152	￥43	￥1	￥1	冬
3899	185	題号不明	高野素十	言語	縄の玉ころがつてゐる年用意	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	176	￥43	￥1	￥1	冬
3900	185	題号不明	高野素十	言語	餅搗くや框にとびし餅のきれ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	192	￥43	￥1	￥1	冬
3901	185	題号不明	高野素十	言語	年取が済みて炬燵に炉に集ひ	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	202	￥43	￥1	￥1	冬
3902	185	題号不明	高野素十	言語	野に干せる四五歳の子の布子かな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	220	￥43	￥1	￥1	冬
3903	185	題号不明	高野素十	言語	負ひ真綿して大厨司る	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	220	￥43	￥1	￥1	冬
3904	185	題号不明	高野素十	言語	病む僧の蒲団のすそに僧一人	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	224	￥43	￥1	￥1	冬
3905	185	題号不明	高野素十	言語	蒲団干すなもしなもしと言ひながら	2017	『昭和俳句作品年表(戦後篇)』	104	￥43	￥1	￥1	冬
3906	185	題号不明	高野素十	言語	頬被りしつかと覗く噴火口	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	241	￥43	￥1	￥1	冬
3907	185	題号不明	高野素十	言語	襟巻の濃きと淡きと僧二人	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	242	￥43	￥1	￥1	冬
3908	185	題号不明	高野素十	言語	漂へる手袋のある運河かな	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	243	￥43	￥1	￥1	冬
3909	185	題号不明	高野素十	言語	餅板の上に包丁の柄をとんとん	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	248	￥43	￥1	￥1	冬
3910	185	題号不明	高野素十	言語	茎漬の母でなかりし姉なりし	2006	『角川俳句大歳時記　冬』	278	￥43	￥1	￥1	冬